



第14号

学校だより

けやき

平成30年 2月27日
宇都宮市立上河内中学校
発行責任者 校長 西原 良一

あっという間に2月が終わりました

「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉があり、年明けから年度末への3か月はいろいろと忙しく、月日の過ぎるのが早く感じるということがよく言われますが、「本当にそのとおりだな。」と感じているこの2か月間でした。

特に2月の中頃からは、ピョンチャンオリンピックでの日本人選手の活躍についつい気を取られていて気が付くと2月が終わろうとしています。



さて、その2月はじめの2月4日は暦の上では「立春」ですが、今年は「春」など微塵も感じさせない寒い日々が続き、この数十年に一度と言われる寒波のせいで、ホームページなどでもお知らせしたように本校では水道関係のトラブルが続きました。屋外などの水道管（最終的に水が出る蛇口に近い場所）が凍結することは今までもあったようですが、今回は水道管本管から受水槽につながる管（家庭用の水道管の何倍もの太さがあり、電熱線が付いている）が凍結して、管の途中にあるバルブが破損。しかも、2系統ある両方ともというありさま。さらには、火災などの際に使用するための非常用受水槽のタンク内にある蛇口までが凍結で破損してしまうという通常では考えられないような被害が続出してしまいました。

水が一切出ないため、地区市民センターのトイレを使わせていただいたり、プールの水を汲んでトイレ用に使ったり、さらには避難対策用の非常用飲料水を配布したりと水道が使えない大変さを嫌というほど実感させられる状況でした。幸い、業者さん（久保井水道）が迅速に対応してくれたり、市の給水車で受水槽に水を入れたりすることで、急場を凌ぐことができましたが、未だ、受水槽への給水管の2系統のうち1系統は未修理のままの状態です。



この水のトラブルとほぼ時を同じくして、「インフルエンザ」も流行しました。1年生で2学級を臨時休業（学級閉鎖）せざるを得ない状況でしたがここにきてようやく沈静化してきました。

そんなイレギュラーな出来事の中にあっても、予定通り入試関係は実施され、7日・8日には県立高校の特色選抜試験（面接や作文・小論文）があり、受検者の約6割に当たる21名の合格が内定し、また、小山高専の一般選抜試験を受験した2名がそろって合格しました。

この結果、県立高校の一般選抜検査を受検する生徒は、47名となり、来る3月7日・8日の受検日に向けて、最後の追い込みをしている状況にあります。



受検を控えた47名の健康と健闘を心から祈っています。

また、22日には毎年恒例の「3年生を送る会」が行われました。吹奏楽の演奏や生徒会執行部によるクイズ・3年間の思い出の写真を綴ったスライドショーの上映が行われ、楽しいひと時を過ごしました。

3年生にとっては、卒業まで残りわずかとなってしまいましたが、中学校生活の最後の日々を、1・2年生については、1年間を締めくくるこれからの日々を充実させて、しっかりと次のステップにつなげるようにしてほしいと思っています。

卒業証書授与を壇上に変更します

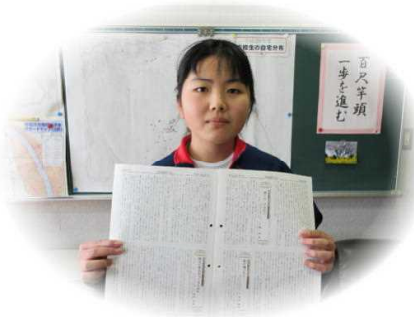
3月12日（月）に行われる第53回卒業式での卒業証書授与をこれまでのフロアでの授与から壇上での授与に変更します。今までと違うため、3年生は入念に動き（所作）などを確認しながら、すでに卒業式の練習を始めています。また、授与が壇上となるのに伴い、卒業式の座席配置も昨年度までのものとは変わってきます。

具体的には卒業生は、昨年度までステージに背を向け在校生の方を向いて座る対面式での座席配置でしたが、今回は卒業生もステージ（正面）を向き、在校生と同じ向きで座ることになります。来賓及び保護者は内側を向いて座り、生徒を横から見るような位置関係となります。

卒業生の保護者の方には、すでに卒業式のご案内のプリントを配付し、その裏面に座席図も掲載してありますので、ご確認の上、当日のご参列をお願いします。もし、プリントがお手元にない場合には、ホームページ（【各種たより】→【その他の通知】→「卒業式のご案内」）に配付したプリントをUPしてありますので、そちらでご確認ください。



2年1組 恩田 莉奈 さん



1年3組 吉成 夏海 さん

かなり前に本校から応募した作文の中で、左の二人の作文がそれぞれ賞を受賞し、その作品が文集やパンフレットの印刷物に掲載されました。

作品は本校のホームページ【その他の通知】にUPしてありますので、どうぞお読みください。

子どもたちの様々な活躍



毎日の多忙な学校生活を送りながら、様々な活動に取り組み、活躍している人がたくさんいます。例えば、時々、福祉施設に出向きボランティア活動をしている生徒や学校の近くにある図書館で定期的にボランティアとして活動している生徒。また、スケート（ショートトラック）で大会などにも出場している生徒もいれば、伝統芸能の和太鼓の団体に所属し、大勢の聴衆の前で腕前を披露したりする生徒などもあります。

これからも、一人でも多くの生徒が、自分のでることの幅を広げ、学校以外の場でも活躍してくれることを期待しています。

